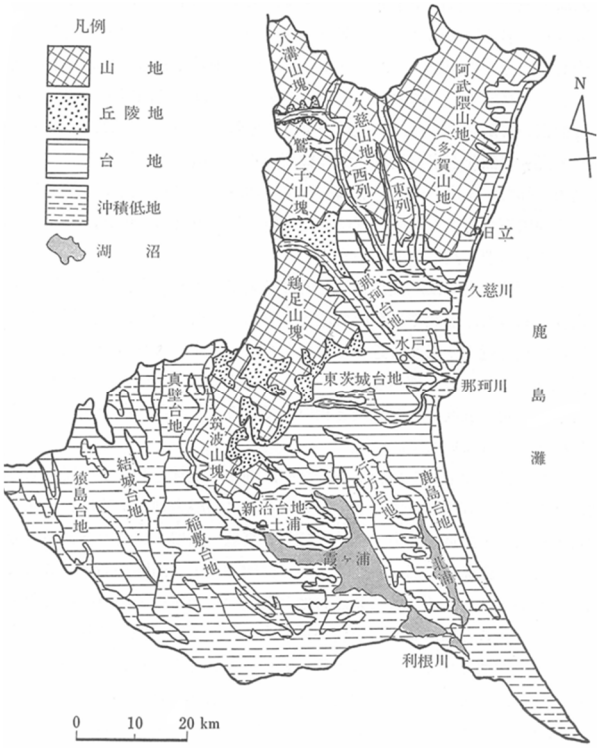
下妻市の地勢と気象



下妻市は、茨城県西部の県西地域に位置する。北は筑西市に、東はつくば市に、南は常総市に、西は八千代町に接している。市の西部には砂沼があり、市の東部(筑西市、つくば市との境)を南北に小貝川が、市の北部から東部にかけて糸繰川が、市の西部(八千代町との境)を鬼怒川が、市の南部(鬼怒川と小貝川の間)を八間堀川が流れている。小貝川は、栃木県那須烏山市の小貝ヶ池を水源とする一級河川(国管理)で、取手市と利根町の境を経て利根川と合流する。糸繰川は、筑西市犬塚を水源とする一級河川(県管理)で、市の北部から中央部にかけて南北に流れ、その後流路を東に変え、市の東部で小貝川と合流する。鬼怒川は、栃木県日光市と群馬県片品村の県境にある鬼怒沼を水源とする一級河川(国管理)で、守谷市で利根川と合流する。八間堀川は、下妻市加養を水源とする一級河川(県管理)で、常総市で鬼怒川及び小貝川と合流する。



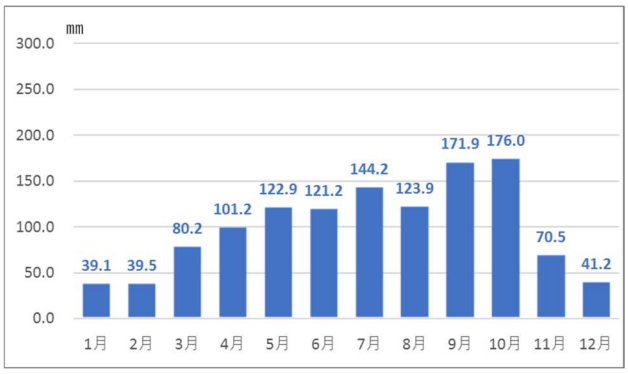
茨城県の地形区分(出典:茨城県　地学のガイド;1977, コロナ社)

地形は、市の東側は沖積低地で、西側は台地(結城台地)である。

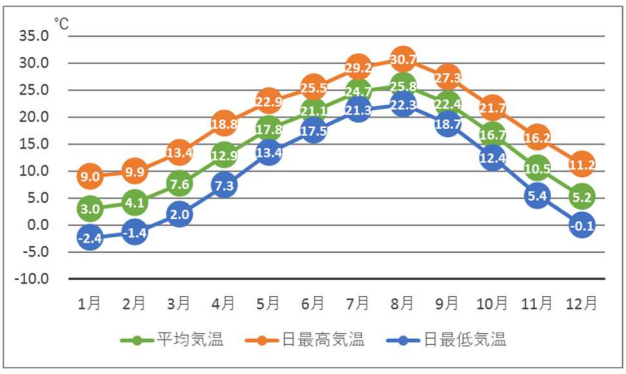
気候は、太平洋側気候で内陸気候の特徴を併せ持つ。夏季は、太平洋高気圧から吹き出す南よりの風の影響で高温多湿となり雨も降りやすい。冬季は、乾いた北西の季節風が吹き、晴天の日が多く、降雪は少ない。内陸部では、気温変化が大きく乾燥しやすい。また、放射冷却が強く働きやすい。

降水は、冬は少なく、春から夏にかけては梅雨前線の影響などで徐々に多くなり、秋は秋雨前線や台風の影響などで更に多くなる。年降水量の平年値(下妻)は 1231.8 mmである。

気温は、夏に 35° C 以上の猛暑、冬に −10° C 以下となることもあるが、平年の気温(下妻)は、夏季の日最高気温が 30.7℃、冬季の日最低気温が −2.4℃で、年平均気温は 14.3℃である。



下妻の降水(月ごとの平年値)　1991 年～2020 年の統計値



下妻の気温(月ごとの平年値)　1991 年～2020 年の統計値

下妻の平年値・極値はこちらから

https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/index.php?prec_no=40&block_no=0322&year=&month=&day=&view=